

令和3年度 公共事業再評価（農業農村整備事業）

畑地帯総合整備事業

重須地区

経済産業部 農地局 農地整備課

1 位置図／事業概要／事業の目的・必要性

位置図



事業概要

施工箇所：沼津市内浦重須

受益面積：78.5ha（受益者144名）

工期：H23年度～R05年度（R03年度）

事業費：1,709百万円（974百万円）

事業内容：農道	延長6,021m
用水路	延長3,600m
区画整理	面積1.8ha
防災安全施設	1箇所

事業の目的・必要性

生産性の向上と担い手の経営規模拡大

- ・ 道路及び用水路の整備による、走行経費の節減と農作物の品質向上
- ・ 区画整理による、営農経費の節減と作物生産の増
- ・ 事前防災となる高台移転用地の確保や防災安全施設の整備による、生活環境の向上

【視点1】事業の必要性等（その1）

（1）事業を巡る社会情勢等の変化



<生産基盤>

- ・農地は急峻であり、生産者の規模拡大が困難
- ・農道は狭く、集出荷や農業資材等の搬入に苦慮
- ・農業用水施設は不足し、適期に十分な防除、施肥作業を行うことが困難

<農業生産>

- ・西浦柑橘共選場の光センサー式糖酸分析器導入（H24）や、「西浦みかん」の機能性表示認可（H29）、「西浦みかん寿太郎」の地理的表示（GI）保護制度登録（R01）による、商品価値の向上
- ・「寿太郎みかん」ブランドを活用した加工品の増
- ・上記に伴う市場規模拡大に対する、生産量の確保

<社会情勢>

- ・「JAなんすん」による援農ボランティアの募集
- ・アニメ「ラブライブ！サンシャイン！！」の聖地巡礼による、交流人口増

➡ 営農条件の向上による農業経営の安定、発展

【視点1】事業の必要性等（その2）

（2）事業の投資効果

総便益(B) 29.89億円

総費用(C) 20.37億円

総費用総便益比 $B/C = 1.46$

内部収益率 5.3%

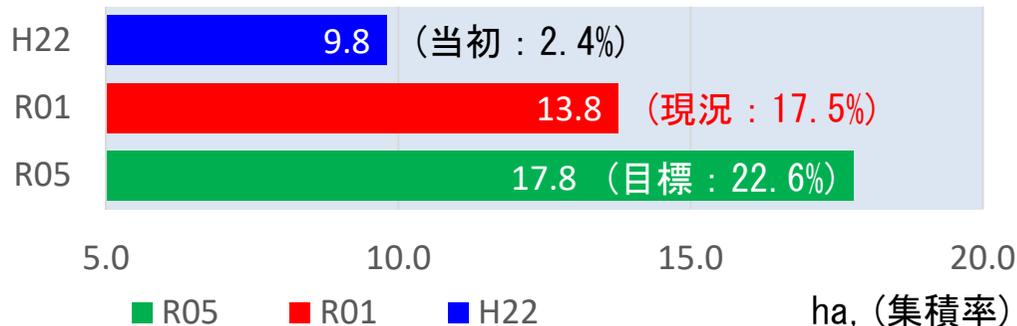
（3）事業の進捗状況（令和3年度末見込）

事業費進捗率 : 75.9%

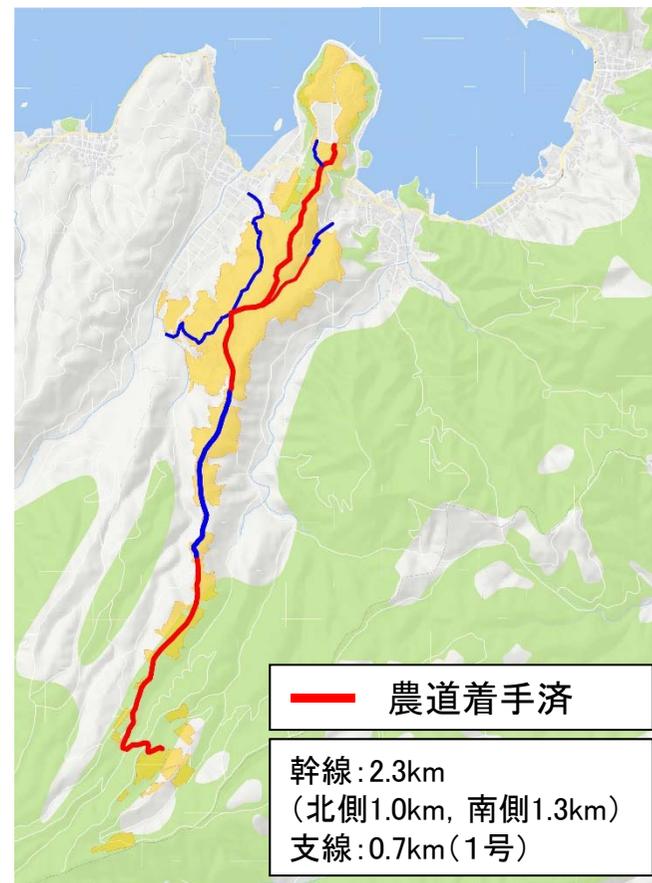
事業量進捗率 : 50.2%

	計 画	(進捗状況)
農道	延長6,021m	(2,713m)
用水路	延長3,600m	(3,267m)
区画整理	面積 1.8ha	(1.6ha)
集落防災安全施設	箇所 1箇所	(1箇所)

■担い手への農地利用集積



■農道着手済箇所



【視点1】事業の必要性等（その3）

○事業の効果（農道，農業用水）

走行経費節減効果（農道）



■年間走行経費の増減

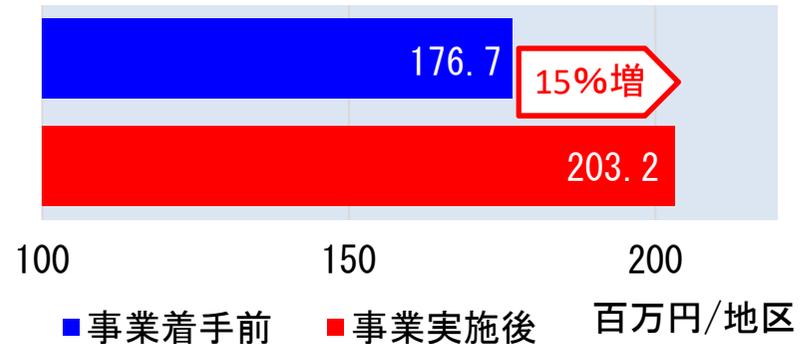


- ・ 移動時間（自宅→農地, 農地→出荷場）の短縮
- ・ 道路拡幅による、通行車両の大型化

作物生産効果（農業用水）



■作物生産純益額の増減



- ・ 計画的な灌水による、作物の増収

【視点1】事業の必要性等（その4）

○事業の効果（区画整理，営農環境整備）

区画整理



■ 作物生産純益額の増減（区画整理1.8ha）



- ・ 急峻な樹園地の平坦化による、農業生産性と品質の向上
- ・ 荒廃農地の解消及び傾斜地の平坦化による、作物生産の増

生活環境整備



- ・ 区画整理による、事前防災となる高台移転用地の確保
- ・ 防災安全施設の整備による、生活環境の向上

【視点2】今後の事業の進捗見込み

<農道>

- ・ 全線用地買収済
- ・ 幹線農道の約6割が拡幅改良済であり、今後、計画的に舗装工事を実施
- ・ 今後、幹線農道を営農者の迂回路とし、支線農道整備

<用水路>

- ・ 幹線農道の拡幅改良とともに、幹線農道下に埋設整備

<区画整理・防災安全施設工>

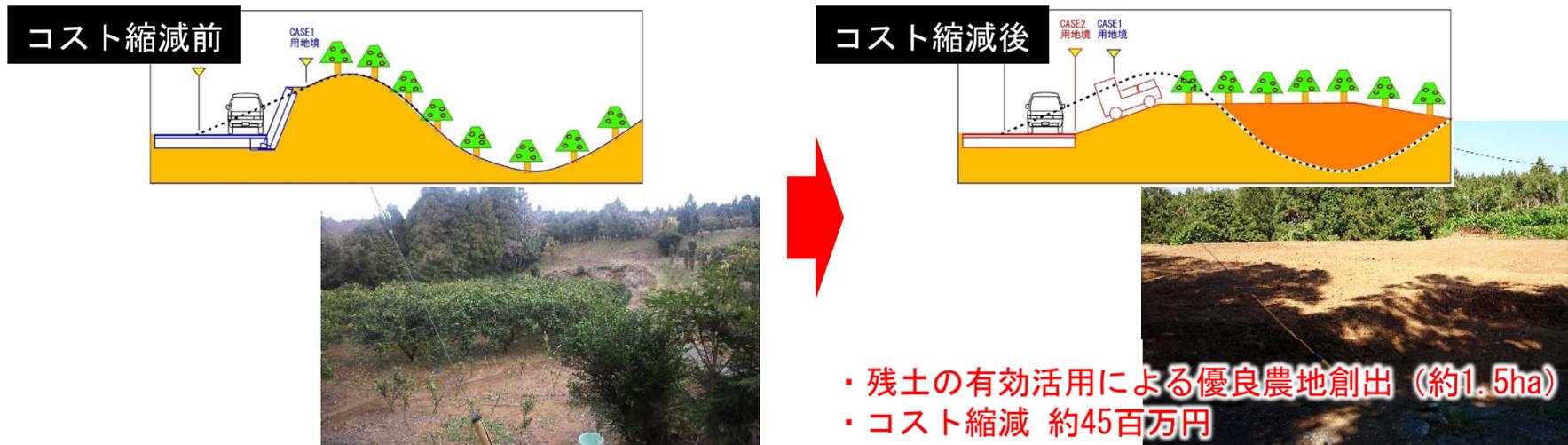
- ・ 施工済み



今後の事業の円滑な進捗が見込まれる

【視点3】コスト縮減・代替案立案等の可能性

- ・ 構造物，用地買収，残土処分費用の縮減



対応方針（案）

- ・ 本地区は県の基幹作物である「柑橘」の産地として確立
- ・ 受益者の営農意欲は非常に高く、早期完了を熱望
- ・ 「西浦みかん」の機能性表示認可やG I 認証による商品価値向上、市場規模拡大に対応する生産力強化が必要

本事業を継続し早期完成を図る